

## ■学校経営のポイント

### 学級崩壊と授業崩壊の克服

小島 宏

新学期が始まって1ヶ月余、学級崩壊や授業崩壊に苦勞している教師が少なくない。

学級担任制の小学校では、学級崩壊と授業崩壊が、同一の学級で起こるが、中学校では、特定の教師や教科で授業崩壊が起こることが多いようだ。

今号では、学級崩壊と授業崩壊の克服と予防について考えてみる。

#### 引き継いだ学級が崩壊状態

ある小学校で担任をしているA教諭の学級では、生活も学習も混乱し、学級崩壊と授業崩壊の毎日であるようだ。中学校の数学担当のB教諭も、授業崩壊で困り果てている。

これらは、前任者の時から既に学級崩壊と授業崩壊の状況にあったということである。

#### 引き継いだ学級での崩壊の原因と対応策

上記のような崩壊の原因は、前任者の学級経営や授業にあり、次のような対応が必要である。

- 教師の話は簡潔にし、子供の意見にも耳を傾ける。
- 生活や学習のルールをきちんと指導する。
- 担任と子供、子供同士の間関係を改善する。特に、子供と遊ぶこと、談笑、悩みごとに丁寧に応じるなどに努める。特に、いじめ、暴言、暴力などについても、具体的に指導する。
- 分かり易い授業を工夫し、躓いている子供、学習の苦手な子供に支援の手立てを丁寧に講じる。
- 何事もできたら、頑張ったら、思いやりの行動ができたなら、それらを認め、褒めて、子供に自信を持たせるようにする。

#### 自分が担任したら崩壊した場合の原因と対応策

一方、昨年度までは、子供の学校生活も学習態度も問題がなかったのに、自分が担任になって次第に乱れてきたということも起きている。

これは、今年度の学級担任・教科担任の学級経営や授業に原因があると考えられる。

そこで、次のような改善・工夫が求められる。

- 子供がこれまでに身に付けている学校生活や学習活動のルールを尊重し、「学校のきまり」に基づいて継続する。
- 子供との関わり方を工夫し、子供とのコミュニケーション不足を改善する。
- どの子供にも公平・平等に接し、臆をしない。
- 子供の状況を観察し、良い所は認め、褒める。
- 問題点は、その都度、子供たちに投げかけ（相談し）、話し合うようにする。
- いじめ、暴力、暴言などについて、学校の方針に基づいて、具体的に適時に指導する。
- 異動してきた教師、経験の浅い教師は、同僚との情報交換に努め、学校として一貫した指導に努める。

#### 校長のリーダーシップ

まず、子供のために現実に起きている学級崩壊と授業崩壊を改善することである。

そこで、学級崩壊と授業崩壊の要因を把握し、分析し、対策を講じるようにする。その際、当該教師の不十分さを責めることなく、「何が不足しているか」「どうすべきか」を具体的に指導し、少しでも改善したら「教師の努力」と「子供の頑張り」を素直に認め、評価することが肝要である。

その上で、学級崩壊と授業崩壊の予防策を、学校として組織的に講じることが重要である。

そのため、管理職と教師や教師同士の情報交換の日常化、管理職やベテラン教師による経験の浅い教師への指導・支援、学級経営や教科指導、子供理解などに関する校内研修・授業研究の実施などに取り組むようにする。

(こじま・ひろし=元東京都公立小学校長・(公財)豊島修練会顧問)

●「個別最適な学び」への理解を深め、具体的な手立てにつなげる！《好評発売中！》

### 個別最適な学びの足場を組む。

奈須正裕【著】四六判／270頁／定価2,200円(税込)

